

女性層に対する社会保障と税の一体改革広報の取組 ～女性の視点から日本の財政を考え、これからの日本のあり方について議論する～

- ◆ 中国財務局では、選挙権年齢の18歳以上への引下げや女性活躍推進法の施行など社会情勢が変化している中、より一層、女性層や若年層に対する情報発信を行うことが重要と考え、啓蒙を意識した広報活動に取り組んでいる。
- ◆ 持続可能な財政や社会保障改革の推進について、様々な立場にある女性に、理解を深めていただくきっかけとするため、**女性財務行政モニターや安田女子大学の学生との意見交換会、「女性の集い」**を平成28年5月26日に開催。
- ◆ 子育て層向けには、**東尾道子育て支援センターと連携し、説明資料を紙芝居風にアレンジした「子育てママ向けファイナンス講座」**を29年1月27日に初めて開催。今後も子育て支援センターとの連携を模索し、女性層への社会保障と税の一体改革広報へ取り組む。

1. 成果事例の概要等

○ 女性活躍の時代ともいわれる中、持続可能な財政や社会保障改革の推進について、様々な立場にある女性に、理解を深めていただくきっかけとするため、意見交換会「**女性の集い**」を平成28年5月26日に開催。

○ 当集いには、当局が寄附講座を行っている**安田女子大学**から14名の学生と現代ビジネス学科長が参加したほか、**財務行政モニターである広島商工会議所女性会会長や女性経営者**など有識者が参加。

○ 意見交換では、課題を「①財政の現状に対する感想②財政を見直すにあたって、重要だと思う歳出項目とその理由」、「今後の子ども・子育て支援策について」の2つに絞り、参加予定の学生には、当局職員が事前講義を行った結果、活発な意見交換が行われた。



○ 29年1月27日、東尾道子育て支援センターと連携し、センターに遊びに来た親子に対し、子どもと遊びながらも気軽に聞けるよう、**子育て世代向けのマネープランと国の財政の資料を紙芝居風にアレンジした「子育てママ向けファイナンス講座」**を中国地方で初めて開催した。

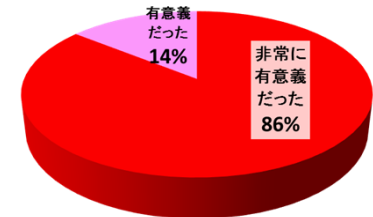


○ 山口財務事務所では、29年2月23日、やまぐち子育て福祉総合センターと連携し、保育者・子育て支援者向け専門研修の講義として、保育士等55名に対し、社会保障と税の一体改革広報を実施。

2. これまでの取組の成果等

○ 女性の集いでは、学生から、「税制を見直し、社会保障制度の維持・安定化が必要だ」とする意見が多かったほか、「子ども、子育てのために国が支援してくれることは、これからの私たちの世代にとってありがたいことであり、子供を産むか迷っている女性のためにもなる」、「消費税の使い道を『見える化』させることで、日本の財政を国民にもっと理解してもらうことが重要」といった意見があった。

女性の集いに参加して有意義でしたか？



○ 女性有識者からは、「高齢者が若い人に迷惑をかけないように、体調を整え、働けるうちは働き、年金だけに頼らず、自分の生活を自分で確保することが大事」との意見のほか、「**国や地方公共団体が女性の活躍を支援する流れがあるので、女性の選択肢が広がって良かった**」といった意見もあった。

○ 同席した学科長からは「学生たちにとっても、とても有意義だった。また開催して欲しい」との要望が寄せられた。

○ 当集いについては、**同大学のホームページでも紹介され**、「このような機会を提供していただいた中国財務局に厚く感謝いたします」と締めくくられている。また、参加した**女性有識者のSNS (Facebook) でも、活発な意見交換の様子が情報発信**されている。

○ 東尾道子育て支援センターで開催した「子育てママ向けのファイナンス講座」の参加者からは、「**紙芝居風の国の財政の説明は、分かりやすい**」と好評だった。

3. 今後の課題と中国財務局等の対応

＜今後の課題＞

○ 女性層は少人数での活動が多く、組織だった所属団体も少ないことから、連携先の開拓が課題。

＜中国財務局の今後の対応＞

○ **広報活動の裾野拡大のため、子育て支援センター等との連携を模索し、講師派遣の広報活動の強化を行うとともに、地域連携の深化・拡大に努める。**